

会議名(審議会名等)

平成23年度第2回小金井市市民健康づくり審議会

事務局(担当課)

福祉保健部健康課

開催日時

平成23年6月24日(金) 13:30~14:55

場所

小金井市保健センター大会議室

出席者

審議会委員 10名

会長 丸茂 恒二委員 副会長 鴨下 健夫委員

委員 木下 隆一委員 新藤 芳雄委員 西村 多加子委員 小林 久滋委員

木所 義博委員 大西 義雄委員 善如寺 日雄委員 増田 和貴委員

事務局

福祉保健部長

健康課長

健康課主査

健康係長

ジャパンインターナショナル総合研究所社員 2名

傍聴の可否及び傍聴者数

傍聴可・傍聴者数0人

会議次第

別紙のとおり

審議会内容

健康課長 本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から、平成23年度第2回小金井市市民健康づくり審議会を開催いたします。本日、篠田委員・古明地委員・井上委員から欠席のご連絡が入っております。初めに、4月の多摩府中保健所の人事異動で阿保委員の後任に増田和貴委員に変わりましたが、前回ご欠席でしたのでご挨拶をお願いいたします。

増田委員 前回、所用にて欠席してしまいまして申し訳ございません。今回4月の人事異動で、健康安全研究センターから多摩府中保健所保健対策課に異動してまいりました、増田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

健康課長 ありがとうございます。それでは丸茂会長、開会のご挨拶をよろしくお願いいたします。

会長 本日はお忙しい中、猛暑の中、暑いさなかにお集まりいただきましてありがとうございます。本日は平成23年度第2回小金井市市民健康づくり審議会を開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

健康課長　それでは、議事に入る前に資料のご確認をお願いいたします。以前お送りしました小金井市保健福祉総合計画策定に伴うアンケート調査結果報告書と本日、お手元に配布させていただきました小金井市保健福祉総合計画骨子案です。後1部、アンケート調査の一部分のコピーをお配りしています。皆さんございますか。それでは、これより議事に入らせていただきます。会長、よろしくお願ひいたします。

会長　それでは本日の議事に入らせていただきます。議事の1番の小金井市保健福祉総合計画及び骨子案について、報告をお願いします。

岡研究員　よろしくお願ひいたします。まずアンケート調査報告結果からご報告いたします。前回単純集計の部分だけ終了しておりまして、その結果部分を説明しましたけれども、今回性別、年齢別、クロス集計したもの、自由記述につきましても報告させていただきます。クロス集計につきましては健康増進計画は、男女別、年齢別、小さい数値目標を入れております部分に関連してクロス集計しております。

まず、5頁。身体状況・健康状態について、体脂肪率を測ったことがありますか、前回は上の円グラフで単純に測った、測っていないだけでしたが、下の表を見ていただきますと年齢別に20歳代から80歳代まで分けて、色の薄いのが測った、色の濃いのが測っていないという回答になります。50歳代で測っている人は7割、70歳代で測っていない人は4割となっていて年齢による結果が出ています。

続きまして6頁。問6の下の方ですが、気になっている病気の並びがあります。男性と女性で示しております。色の薄い方が男性で、濃い方が女性です。男女のばらつきがみられまして、高血圧症は男性が非常に気にして、女性のはがん・歯周病を気にしています。糖尿病は男性が多く、うつ病など心の病は女性の方が比較的多く、骨粗しょう症は圧倒的に女性が多くなっているという違いが出ています。

9頁の問11をご覧くださいなのですが、各種検診の受診状況を聞いています。上の方がもともとのデータで、健康診査から人間ドッグ、各種がんが並んでいます。それぞれについて年齢別に分析しました。9頁の下は健康診査の受診年齢別です。一番左の少し色が薄い部分が市の検診を受診した人、次の色の濃い部分が市以外の他の機関で受診した人となっております。合わせると年齢別では変わらない状況です。60歳、70歳は市の検診を受診し、その他の年代は会社で受診しているという結果になっています。10頁の上は人間ドッグの受診状況です。これは市の検診はありませんので他の機関の受診ですが、40歳代、50歳代、60歳代で約2割の方が人間ドッグを受診している結果になっています。その下が胃がん検診の受診状況ですが、市の検診と合わせまして40歳代、50歳代で約3割の方が受診されている結果になっています。11頁の上は肺がん検診の受診状況ですが、若干低めにはなっていますが40歳代、50歳代、60歳代で大目に見て約2割の方が、市と他の機関で受診されています。その下が大腸がんの受診状況です。40歳代以上で多くて3割、年齢が高くなると市の検診を半分位受診している状況です。続きまして、12頁の子宮頸がん検診の結果ですが、20歳代から50歳代において割と高く4割から5割の方が市や他の機関で受診している結果になっています。その下が子宮体がん検診ですが、50歳代が一番高いが30歳代～50歳代の受診が多くなっています。13頁の上、乳がん検診ですが、40歳代～50歳代に受診が5割になっています。以上が各種がん検診の詳細な状況です。

次に14頁、問13ですが、本日追加で調査表の資料をお配りしました。前回の会議の時、自己検診の費用で、市は無料で実施しているのだけれどもというご意見がありましたが、本日の資料の問13の下に書かれている、実際のアンケートをお配りした時には※印で、各種検診では概ね5,000円～10,000円(平均7,000円)の費用がかかりますが、現在市では、乳がん検診(2,000円自己負担)を除く各種検診を無料で実施しています。という様にきちんと設問につけて配布しておりました。前回は、グラフを書く際に消えてしまって誤解を招いてしまったの

ですが、きちんと記述して発送しておりましたので前回説明できなかったことをお詫びいたします。

次に15頁、栄養・食習慣についてです。問15の1日3食、食べているとか、時間が決まっている、朝食を食べているかという事の状況を全体的に聞いています。年齢別、性別で16頁以降、少し詳しく説明しています。この部分は20歳代の男性の朝食の摂取が低いので詳しく説明しています。まず、16頁の上ですが、1日3食、食べていますかですが、グラフの上の部分は男性で下の部分が女性になっています。20歳代の男性の結果が非常に低く40%位の低い結果になっています。これはいろんな自治体で同じ様な傾向がみられています。下の食事の時間が決まっていますかという問では、20歳男性、30歳男性、20歳女性のやや半分くらいが不規則な結果になっています。17頁の上ですが、朝食、1日3食との関係がありますが20歳男性が低く40歳男性は8割を超え良い傾向がみられています。その下の栄養バランスを考えて食事をしているかですが、全体的に低くなっていますが、20代・30代男性は、ほとんど考えていない食事をしていることが結果として出ています。20歳女性も4割近く考えていない事が出ています。

続きまして18頁、あなたが食生活に関して健康のために気をつけていることはどのようなことですかです。主に食事に関してですが、19頁から詳しく載せてあります。19頁の上の野菜を食べる、野菜をなるべく食べるようにしているを見ますと、女性の方が多く年齢に関係なく、意識して食事をしている結果になっています。男性の20代から40代までそれが低くなっています。その下の塩分をひかえるについては、男女共に、女性の方が成績はいいのですが年齢が高いほど気をつけている傾向になっています。20頁の油ものをひかえることを気をつけている方の割合になりますが、女性の方が全体的に割合が高くなっています。20代男性は回答がゼロになっています。その下の魚を食べるようにしているのですが、男女共50歳以上、女性の方は全体的に高い、女性の方が気をつけている結果が出ています。

続きまして、21頁、問17の食事バランスガイドは厚生労働省が推奨しているものですが、それについて知っていますか、知らないですかの間ですが、男女別で大きく違いを見ていますが、女性の方が知っている割合が高くなっています。

次は22頁の運動について、日頃運動していますか、で、「はい」、「いいえ」があります。下の方で男女に分かれています。左側の薄い色が「はい」で右側の濃い色が「いいえ」になっています。60歳以上の年齢の方が非常に運動をしている結果になっています。男女共若い年齢は運動をしていない状況になっています。

続きまして25頁、休養・睡眠・こころの健康についてです。問22でここ1ヶ月間の平均睡眠時間を聞いています。6～7時間が一番多くなっていました。下の図は、左側が5時間未満、その次の色の濃いものが5時間～6時間未満というような並びになっています。6時間未満までの部分を見ますと50歳代の睡眠が少ない、60・70・80歳代は以外に睡眠を取っている状況です。

続きまして26頁、27頁になりますが、26頁ではあなたは睡眠で休養が十分とれていますかという事を聞いています。その下で睡眠時間と休養がとれているかのクロスになっていますが、左側が十分とれている。その次がまあまあとれている。色のついている部分がとれているになりますが、睡眠時間が5時間未満ではとれていない方が7～8割になっています。5～6時間でもやや少ない結果が出ています。

続きまして27頁、ここ1ヶ月間で不満、悩み、苦労などによるストレスがありましたか。ストレスの状況で、下の図で大いにある、多少ある方に色がついています。大いにある、多少ある方を合わせて30代から50代の男性が多い状況です。50歳代が全般的に高いです。

続きまして29頁、飲酒・アルコールについてです。飲酒の頻度になりますが、下の図で項目が多いので見にくくなっていますが、上半分の男性で色の濃い部分からその次までを含めて、週5～6日以上飲んでいる。40代から70代では半分位の方が飲酒しています。男女差が顕著に出ています。

続きまして30頁、下の方で飲酒の頻度と1回あたりの飲酒量をクロスしています。左側が毎日、週5～6日という人が、量としてどのくらい飲んでいるかを集計しています。一番上の毎日のところを横に見ていきますと黒い部分が3合以上飲むという、非常に多量に飲む方が4.6%となっています。毎日飲んでしかも3合以上飲む方、多量飲量者の割合となっています。

続きまして31頁、歯と口腔の健康についてです。問30で歯の本数を20本以上、20本未満で質問しています。32頁の上では歯の本数と年齢の関係を組み合わせてみました。20本未満というのが60歳代以上から増え出します。60歳代で35.9%、80歳代では半分以上の方が20本未満となっています。60歳代以上から本数が減る傾向が顕著になってきます。

続きまして33頁、喫煙について、問32たばこを吸っていますか。吸っている方が12%で少ない結果でしたが、下の年齢別・男女別で見ますと、上の男性の部分で吸っているという方は、20歳代から60歳代にかけて2割～3割、50歳代が3割で一番高くなっています。男女差が非常にはっきり出ています。

以上の部分が主にクロス集計した今回の追加部分になります。

続きまして42頁をご覧ください。問43、色抜きの部分で1健康診査や各種検診についてという様に、分野別で記入いただいた形になっています。ここについては、受診年齢は設けてほしくないとか2年に1回を無料検診が望ましい。抽選ではなく全員が受けられるようにしてほしい。他市でも受けられるようにしてほしいというような意見が出ていました。後は検診の時に子どもを連れてきて良いような体制を作ってほしいというのもありました。

45頁を見ていただきますと、2生活習慣病対策(運動・栄養)の取り組みでは、運動メニューがわかるとありがたい。市報に載せてほしい。ウォーキングラリー、歩け歩け運動などを実施してはどうか。運動施設の充実をしてもらえないかなどの意見が出ています。それから下の、3保健医療に関する情報提供では、情報提供をもっとしてほしいという意見が多く出ています。次の頁には市のホームページで特集を組んでほしい。市報は見ているが情報が少ないなど情報提供が重要と考えます。真ん中あたりの4地域や学校での健康教育では、若いうちに予防が大事だとしっかり教える。低学年から教育をするという意見もあります。次に5こころの健康相談ですが、ピアカウンセリングなど様々な方法で相談を実施してほしい。自殺予防のために24時間無料で悩みを聞くことも必要だ。ひきこもりの対策も必要であると書かれています。次に6学校や地域での食育です。食育の推進が最近進められていますが、食育は小学校1年生から取り組むべきです。学校給食は頑張っているが、家庭で浸透していない事が課題だという意見があります。続きまして、7休日診療・休日歯科診療については、子どもは夜間発熱するので小児科を複数入れてほしい。近隣3市共同でやってほしい。夜間と言わず24時間対応してほしい。休日診療を増やしてほしいなどの意見があります。それから、48頁の8小児の救急医療体制では、小児科に対する要望が多数ありまして、小児科が少ない。産科施設の充実をしてほしいとなっています。49頁、9働き盛りの健康への支援では、働き盛りの人は医者にかかれないので心配である。仕事をしていて昼間検診できないので夜間医療がほしい。不健康の場合の危険告知をしてほしい。健康講座を実施してほしいなどの意見があります。10地域の自主グループ等への支援では、地域の団結のための支援がほしいとなっています。11子育ての母親等の孤立化の防止では、ベテランの母親と若いお母さんが交流できるようなサークルがあればよい。若い母親が相談しあえる場所、1歳、2歳の子供が遊べるような室内遊戯施設などがあつたらよいというような意見が出ています。50頁、12その他では色々な意見がこの中で出されています。そして、問44の最後の設問ですが、完全に自由に記述していただいた意見になりますが、多岐にわたっていますので内容で分類いたしました。1栄養・食生活については、安全がわかる食べ物の紹介をしてほしいとのことで、あまりたくさん記入されていません。2運動については割と記述がありまして、年齢層に応じた健康維持体操をしてほしい。年齢の高い方には足腰に良い

運動・リハビリが出来るところがあるといい。サイクリングロードを作してほしい。ダンス教室が出来ればいい。体育施設が少ない。また武道を推進してはどうかとの意見もありました。3喫煙についての意見では、歩行禁煙は駅前だけではなく全域にしてほしい。罰金を厳しくしてほしい。歩きたばこ禁止の意見もあります。続きまして54頁、4各種健診（検診）についてはこれまで出てきていることに共通していますが、近隣の市で検診が出来るとよい。正社員以外のアルバイトが無料で受けられる検診があればよい。働く人向けに利用しにくい点をどうにかしてほしい。子ども連れの親が子供を連れて検診できるようにしてほしい。検診の日がちが重なるのがいやだ、混雑するなどの意見が出ています。56頁、5歯についてです。子どもの歯科事業はもっとアピールしていいのではないかという意見です。その下の6医療については、かなり書き込みがされています。病院の閉院時間が早すぎる。子どもの医療費はせめて小学校低学年まで無料にしてほしい。小児科を増やしてほしい。災害時の医療についても考えてほしい。市内のドクターのリストを作してほしい。信頼できる医者が少ないなどが出ています。続いて58頁、7予防接種についてです。小児ワクチンの接種を無料化してほしいという意見もあります。それから8高齢者についての意見をまとめましたが、介護保険や地域包括センターのことについて意見が出ています。これは市の高齢者福祉計画の内容になりますが、多数意見が出ています。60頁、9情報提供についてです。保健医療をもっと知らせるべきです。全く情報を得られていません。ホームページがわかりづらい気がしますというような意見が出ています。次に10その他として、震災になった場合の対応が判らない。全般的にいろいろ出ていまして、高齢者の見守りをしてほしい。市役所で保健センターの用事が済むようにしてほしいなどです。以上で前回の単純集計とクロス集計を組み合わせた自由記述部分の説明になります。以上です。

会長 　ただ今、ジャパン総研から小金井市保健福祉総合計画アンケートについて年齢別・性別に基づいた詳しい報告がありましたが、多岐にわたっての意見要望がありましたけれども、ご意見・質問はありますか。

木所委員 　アンケート調査結果を拝見して大変興味深いところで、内容がもっともだなというところがたくさんあったと思います。一つ一つに関して委員会で見ると時間的にも無理だと思うのですが、全般的に情報が少ないという意見が多いのですが、実際は情報が出ていると思うのですが、情報にたどりつかないというのが市民の方の大半の意見だと。例えば市報に関しても意外と見ているようでも見ていなかったり、老人の方ですと字が小さすぎたり、インターネットを介しても小金井市のホームページの内容が豊富すぎて、どこをどう見ているかわからなくて情報にたどりつかないというような事を、非常に感じるので情報をいかに市民に提供していくかを、これから徹底していくかで変わっていくのではないかと思います。これはいいアンケートですが、これを全て市民サイドに立って考えると、医療福祉に関する予算は3倍になっても足りないのではないかと思いますので、ここのところは難しいところだと思うので委員会の中で考えていったらいいのではないかと思います。それと、30ページの間28の1号の字の変換ミスですので修正をお願いします。意見の集約なので仕方が無いのですが1合未満・1合から2合未満が80%弱位になりますが、これが本当なら居酒屋さんは潰れてしまうのではないかと思います。これは余談ですがお願いいたします。

会長 　これは男女別では無く、全体ですね。

岡研究員 　そうですね。飲酒量の方は男女別ではないです。女性の方はたぶん非常に少なくなると思います。

会長 それにしても少ないように感じますね。回答がこれなら仕方のないことですから。細かいことで申し訳ないのですが、食事に関して、食事の回数・朝食のとり方などで、16頁の1日3食食べている割合が、80歳以上の女性が100%ですが。

岡研究員 80歳以上は男女とも100%です。

会長 100%はいいのですが、次の頁に朝食を食べている人の80歳代男性が70.6%、女性が87.5%になっていて100%になっていないのはどうしてか。

岡研究員 それは、そうですね。

会長 3食は食べているけれども朝食は食べていない80歳代の人が存在するという事ですか。昼と夜と夜食という事の意味ですか。

岡研究員 基本的にはお答えいただいた通りの数字が出るようになっていきます。

会長 他に何かご質問・ご意見等ありませんか。

善如寺委員 運動についてなのですが、後ろの方に出てきている意見ですが、ここだけの問題ではなく、小金井市の生涯学習課の中にスポーツ振興係というのがありますので、そういうところを通じて、高齢者に対応するようなものを発想してもらうとか、出来る分野と出来ない分野を分けて進めていく必要があるのではないかと思います。私はたまたま、体育協会の方からきていますので、後ろの方のその他の意見が良く判ります。今色々なところで取り沙汰されている問題とまったく同じようなことが書かれているので、他のデータを取った時にもそういう結果が出ているというのを、市の方で共有する形にしていただければいいのではないかと思います。

会長 PRするとかですか。

善如寺委員 そうですね。他の部署に、市の中にある生涯学習課の中で高齢者に対応する健康増進に関するようなものを、もっとやらしてもらえないだろうかとか、保健センターの方で考えてやる時もそういうものを活用してやらしてもらった方が良くはないか。施設が少ないという意見もありましたが、保健センターの方でやるとなると大変だと思うし、貴重なデータが出たのであれば活用してもらいたいかなと思います。

大西委員 関連質問で私も同様にアンケートを見ていました。色々勝手なことが書いてあったりきわめて突拍子のないことが書いてあったりしています。予算がいくらあっても足りないと思われそうです。行政側からしたら、アンケートを取ってその後、どうされようとしているのか。ここで話し合って終わりなんですか。まずどうやっていこうとするのかそれを聞きたい。

福祉保健部長 私の方からお答えします。今回健康増進計画を作るのは初めてのことです。保健福祉総合計画につきましては、健康増進計画以外に、障害の分野と高齢者の分野、地域福祉の分野の4つの計画を1本にした総合計画になっています。健康増進計画については基本的にどうして行こうかという問題はありますが、他の3つの計画については、ここと同じような作業部会以外に庁内検討会というものがあります。市役所の中でいろんな課が集まって、今までそれぞれあった計画の検証作業をする作業部会的なものの中で、一定

の共通認識であったり検証作業が出来ますので、健康増進計画も今後同じような作業が今後必要になってくると思います。その結果を健康づくり審議会に戻し、結果報告や委員の皆さまに考えていただいたりします。市役所の庁内連絡会を使って作業をしていきたいと思っています。特に高齢の施策については、介護の方でさくら体操等を基本とした元気な方が元気で生活し続けていかれるような取り組みもしていますので、庁内連絡会の中でスポーツ振興課も入ってきますので、いろいろな分野の方の目に触れて意見をもらう形になりますので調整をしていきたいと思っています。2点目の質問とも重なりますが、健康づくり審議会の中でアンケートに基づいて実際に課せられている課題は何か、実現可能かどうかを含めて課題の抽出をすることが、アンケートの一番の目的だと思っています。今後アンケートに基づいて計画を揉んでいく中で、自然に課題の抽出も合わせて出来てくるかと考えています。

会長 よろしいでしょうか。せっかく詳細なアンケートですのでうまく生かしてしていければ良いのではないのでしょうか。

大西委員 大体は判ります。ものすごく範囲が広いのです。スポーツから医療から、これから課題で我々の代表で興味があるけれど、助成の制度がからんできたり大学病院を作れとか、出来るわけがないと。あるいは小児科が足りない、婦人科が無いという、市民の言うとおりであるが、そういう事までも受け入れてと書いてある。行政の方とお話したのですが、そんなに簡単にできるものなのでしょうか。

会長 確におっしゃる通りで、非常に多岐にわたって市の中のいろんな課にまたがっており、簡単にはいかないと思います。出来ることと出来ない事もあるでしょうし。まず、分析して整理していただくだけではなく検証していかなくてははいけない。

大西委員 それをここでやろうという訳ですか。

福祉保健部長 一定の整理をして、先程言われたように実現可能な部分とそうでない部分をふるいにかける必要があると思いますが、必ず計画を作る際には市民の忌憚のない意見をいただいて、方向性を知るといいますか市民の方々が、どういったことをどういう流れで行くかという事を知って、計画に生かすというのが計画を作る時の考え方ですので、今回計画を作るにあたって、これを揉まなければいけないという事は現在、市の方でも考えていません。ただ、今後計画を進めていく中で、参考資料としての位置づけになってくるかと思っています。

鴨下委員 アンケート調査というのはいいい面もあるし悪い面もあると思います。かなり忌憚のない意見が出ていますし、793人のアンケート回答があったという事でもあります。健康については皆さん真剣に考えているのだなという気がします。大学病院とか大きな病院を作れというのは小金井市では到底できない話ですから。今部長さんが参考にという事ですので、これはこれで仕方がないことなのかなと思います。本当に面白いことを言っているとしました。中には良い意見もありますが、私はそんなふうに感じました。

大西委員 私が言いたいのは、聞きましたと。聞くことはいいことだけれども、我々の会議でもそうですが、聞きました、答えました、言い放しが一番良くない。これを私は危惧しているのです。そのようにならないように。

福祉保健部長 判りました。ありがとうございます。事務局からいうのもなんですが、他の会

議に出ていて意見が出たのですが、例えば26頁の間23の上の円グラフがあります。その下にはクロス集計している表がありますが、同じ項目でも上は白い色で下は別の色で表示されているという事がいくつか散見されます。計画策定委員会でこれは見づらいということで、円グラフとクロス集計の色をあわせてくださいという意見が出ています。27頁にもありますが、見る方が見やすい状況を作っていただき注釈を見なくても判るようにしていただけますか。

岡研究員 判りました。

福祉保健部長 策定委員会でも同じ意見が出ましたので、合わせるようにお願いいたします。

会長 これはかなり時間が掛かりますね。これから修正とか。先程大西委員が市民に伝える方法、何をやりたいかとかいう事が出ました。伝える方法は市報とかホームページとかでしょうか。

健康課長 ホームページがなかなか見にくいというご意見は多々いただいているところです。健康課だけで解決できることではないので、今後なるべく見やすいように工夫していきたいと思います。

福祉保健部長 一番見にくいのはホームページですと、各課のページがあり健康課が福祉保健部だという事を知っている市民がほとんどいないので、部から課に行くようになっていることは修正が必要かなと思います。担当課には話をしていますが、全体のバランスの中でしているのでなかなか要望が通らないのですが、引き続き要望し使っている市民の方が使いやすい形になっていないと思っています。

新藤委員 ITサポートをしている人から良く聞くのですが、HPが見つからない人がいると。ひとつなるべくわかりやすくしていただきたいと思います。

鴨下委員 アンケートの回答を見ると、比較的国分寺、府中方面の意見が出てくるが、武蔵野とか三鷹寄りの意見は無い。これはどういう感覚なのでしょう。貫井北町に保健センターがあるからでしょうか。私は、東の方に住んでいるので、そんな感じがするのですが。三鷹・武蔵野方面の方が進んでいるので、参考になるのではないのでしょうか。

会長 サンプル抽出は無作為ですので公平です。

木所委員 関野町、梶野町を対象に考えると、人口密度の問題が出てくる。東町はそうでもないが関野町、梶野町はマンションが出来てきてはいるが人口比が少ない。意見として人口密度の多いところが反映される。本町、貫井北町、前原町とかの方が比較的多く、無作為で抽出していても人口比で差が出てくるとおもいます。

鴨下委員 いずれにしてもこれだけのものが出てくると、いくつか入れるとしても大変です。せっかく意見が出たのだから、無視することもできないし。

善如寺委員 しかし、いくつかは解消できることもあると思いますので、市の病院を作れというのは無理だけれども予防医学だとかに関するものは、どのようにやっていけばよいとかという道筋は見えてくるのではないかと思います。



照らし合わせてみましたが、国の資料と並べてみて比較の対象としてみていいのか、という事があります。次回できる部分でまとめてみます。

善如寺委員 小金井はこんな感じという部分でまとめていただければいいと思います。

木下委員 あまり、比較対象にならないのは外して、比較対象になるものを抽出していただければいいのではないのでしょうか。代表としてわかりやすいものをいくつか出していただければいいと思います。

会長 出来る範囲でお願いします。他にご意見はありますか。

岡研究員 骨子案について説明します。健康21の計画を作るためにアンケート調査を行ってきましたが、アンケート調査の市民の回答は市の範囲を超えるものもあります。この計画の中で、市の施策の現状と新規事業として取り入れていけるかという事を市の意見も入れながら検討していければと思います。まず、目次内容をご覧ください。この計画は国の方で10年前から進められています。目次の第4章を見ていただきますと、1～7までの具体的な分野内容を入れることになっています。保健の分野だけでは難しいものは何パターンか入れるようになりますけれども、2頁目は策定にあたっての背景・趣旨です。これからまとめていこうと考えている内容を箇条書きにしています。健康21が高齢化と生活習慣病の予防の対策をし、国の健康21は壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上の3つをこれからも目的として入れています。それはこの計画でも目指していくこととなります。健康増進法に基づいていますが、食育基本法も制定されましたので栄養食生活に関して食育に関する施策も作っていくこととなります。あとメタボリックシンドロームというのも始まりました。健康増進計画が平成10年に始まって以降、色々と施策が出来てきたので健康増進計画に盛り込むようになってきた事項です。東京都で作っているものは、国の7つの分野を大きく3つ位、「糖尿病の予防」、「がんの予防」、「心の健康づくり」に絞っております。ただ、大きく3つに絞ってからも一応、ひととおりは入れるようにしています。計画の期間は平成20年度からになり、計画の性格・位置づけは健康増進法に基づく市町村の健康増進計画となります。小金井市の総合計画の中の健康づくりの分野に沿ったものになり、国・都の計画との整合性を取っていくこととなります。続きまして、3頁～6頁です。計画を作る前提として、市の疾患状況や死亡ですがアンケートとは違いますが、サービス提供側の情報として入れております。3頁は市民の死亡の状況ですが、小金井市民がどういう疾患で亡くなっているか。脳血管疾患、心疾患、悪性新生物の順に多くなっています。上位3つですが、どこでも順番は同じになっていて生活習慣病が起因になっているという事です。下の方は多摩府中保健所管内の比較で、小金井市は右から2つ目になり、他と比較しても高くなっています。4頁は健康診査等の実施状況です。市のデータになりますが、平成20年、21年、22年と実施しているという事です。それから集団健診の状況もでておまして、平成22年度は後から数値が確定してからになります。5頁は健康教育・相談の実施状況になります。成人健康相談、出張健康相談の実施状況になります。その下が栄養相談・指導の実施状況になります。6頁は各種がんの実施状況で子宮がんが伸びている状況です。その下は歯科健診の実施状況で成人歯科健診が平成20年度から高くなっています。こういう形が市の実施状況になります。

7頁ですが、アンケート調査を行った結果をこの中から、健康意識の概要を抽出して載せていきます。各分野の主な回答を載せていきます。

8頁が計画の基本理念・方針で、計画の推移で、こういう形で載せていくことが多いです。どういう健康づくりをめざすか、そのためには基本方針をどうするか、東京都の取組みの趣旨を参考に入れていますが、思い切って糖尿病の予防を中心にしていくとか、方

針をここで検討していくこととなります。国の健康21、9頁の新健康フロンティア戦略、こちらの部分は健康日本21と比較しますと、子どもの健康や女性の健康、メタボリックシンドロームなどが新しく入っております。食育も入っております。東京都の健康推進プラン21では重点3課題の目標をたて、平成20年度には糖尿病の予備軍を10%減らすことを目標に立てております。第4章以降が具体的な取り組みの推進ですが、10頁は栄養・食生活の現状と課題です。まとめ方がアンケート調査の課題を拾いながら作っていくこととなります。このなかで絞っていき次の施策の方向性を作ります。この内容は市で行っている基礎事業になり、それに加えて新しく検討するものが加わります。数値目標ですが、計画が5年なり10年になった場合、計画がどのくらい改善されたかを評価しなくてはいけないので、アンケート調査等から指標をつかって、20代男性の朝食を取る比率を6割にしましょうという様に設定していきます。1番下の枠は市民の行動目標という事で、通常は行政の施策の側から作るものですが、市民にとってこういう目標にしていきましょうという形にしていこうと思っております。

続きまして11頁の身体活動・運動ですが、施策の方向性は案としていますが、今の段階では市の基本事業はないようですので、新規検討事項を入れております。

次の12頁は休養・こころの健康づくりです。ストレスとかうつ、自殺の問題、これも健康増進計画を作らないと施策として難しいと思います。方向性をはっきり指標としてここに入れておく事が必要になると思います。

それから13頁は飲酒・喫煙ですが、こちらも施策が無いので新規検討の事項を入れております。これからできるかどうかを検討していきます。

14頁は歯と口腔の健康です。この部分は既存事業としてかなり実施されています。成人歯科事業、妊婦歯科事業などですが、追加として8020運動の促進や嚙ミング30の普及・啓発を入れていきます。

15頁は糖尿病・循環器病対策です。こちらも基本的には市で実施している事業になります。3番目の学校での健康管理もしているとは思いますが、健康増進計画の中で子どもの肥満の予防とかを入れていきたいと思っております。

16頁はがんの予防です。各種がん検診の充実が既存事業で実施されています。新規検討として健診後のフォローの充実です。フォローは課題になっていることが多いので入れています。

こういったところで、これから作っていく体系の案という事で考えているところです。

最後17頁は計画の推進という事で、1番目は計画推進体制で保健関係だけでは難しいところは関係部署と連携しながら実施していき、2番目に行政だけでない役割分担の協力を依頼し、3番目に計画の評価と見直しを行っていきます。そして、資料編として3つ用意しています。このような形で作成していきたいと思っております。以上です。

会長 　ただいま、骨子案について説明がありました。ご意見等ありましたら、願いたします。

増田委員 　骨子案の15頁に骨粗しょう症健診がありますが、ここに入れるのであれば「糖尿病・循環器等対策」とするのがよろしいのではないのでしょうか。それと、アンケート調査の使用の話がありますが、課題、ニーズの抽出をして計画に盛り込まれていくと思いますが、第2章第1・2節に関連性のない数値目標を載せるだけでなく、市の保健衛生の指標に必ず盛り込んでいただきたい。

岡研究員 　判りました。

会長 　他にご意見はありますか。他にご質問・ご意見が無ければ、議事の2番のその他について願いたします。

健康課長 保健福祉総合計画策定という事で、毎月の開催になります。次回は7月に開催したいと思います。7月26日の火曜日の同じ時間にしたいと思いますが、皆さんのご都合はいかがでしょうか。

木下委員 ちょっと都合が悪いのですが。

健康課長 それでは、皆さんのスケジュールを確認していただいて、都合の悪い方は次回の会議までに事務局までお知らせください。よろしく願いいたします。場所については2階の講堂になります。

会長 それでは、他に発言はありますか。日程については7月26日になります。それでは、本日の会議は終了させていただきます。どうもありがとうございました。